

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	就労支援サービス(Working Support Service)		授業コード	E043101
担当教員名	野中 義光		科目ナンバリングコード	E30931
配当学年	4	開講期	前期	
必修・選択区分	選択	単位数	1	
履修上の注意または履修条件				
受講心得	聴くこと、見ること、調べること、真剣に考え、取り組むことを心がけてください。			
教科書	新・社会福祉士養成講座18 「就労支援サービス」			
参考文献及び指定図書				
関連科目	公的扶助論、障害者福祉論			

授業の目的	社会福祉に関する専門知識と援助技術を習得し、バランスの取れた実践者をめざす目標の中で、就労支援を必要とする人々に関する福祉施策等の基礎的知識に立脚した、具体的な就労支援のための諸サービスの理解と実務に関して理解する。
授業の概要	授業の目的と同じ。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：オリエンテーション・現代の労働を取り巻く状況</b> 本講義の目的、到達目標及び授業計画等について説明します。 現代の雇用・就労等労働を取り巻く状況について学びます。	配布資料
<b>第2週：労働に関する法律と制度</b> 労働に関する法律(雇用関係、労使関係、雇用政策)並びに労働に関する公的保険制度について学びます。	配布資料
<b>第3週：障害者と就労支援</b> 障害者の就労の現状と障害者福祉施策における就労支援について学びます。	配布資料
<b>第4週：障害者と就労支援</b> 障害者雇用施策における就労支援について学びます。	配布資料
<b>第5週：低所得者と就労支援</b> 低所得者の就労の現状と低所得者等における就労支援について学びます。	配布資料
<b>第6週：低所得者と就労支援</b> 生活保護における自立支援プログラムの概要、母子世帯等における就労支援について学びます。	配布資料
<b>第7週：連携・ネットワーキング</b> 就労支援を担う専門職の役割や連携の実際について学びます。	配布資料
<b>第8週：期末試験</b>	
<b>第9週：</b>	
<b>第10週：</b>	

第11週:		
第12週:		
第13週:		
第14週:		
第15週:		
第16週:		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	現代の就労の現状等について理解している。
【技能・表現・コミュニケーション】	生活保護世帯、障害者の就労支援について説明することが出来る。
【思考・判断・創造】	低所得者及び障害者の就労支援の課題と今後の施策のあり方について考察することが出来る。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	50点			
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	25点			
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。	25点			
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	
発表・その他 (無形成果)	